

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



愛知県が推進する「さるすべり」の学習活動推進事業では、環境教育から「さるすべり」の会報誌を発行する内容を親子と企業の担当者らと環境教育の目的と感性の育む体験等経験から着いた現実を切り込み、これからの自然に対する方向性を示す冊子を作成する。

平成二十一年十月四日(日) 駅前広場で高校生12名(ボリ袋(1)(3)相乗らふ)の取組が久い。

この事業は、愛・地球博開催地域社会貢献活動基金の助成金を受けています。



ボランティア指導者 土肥 石川両氏
 地域環境活性化協議会 代表幹事 高橋賢一
 幹事として 土肥 石川両氏
 両氏先頭にたて指導する 津原は 学生連の規範に成ります。



子ども環境大学に見学体験をした感想文を募集し、選定に書かせた。大変つまみ書けなくて感謝する。エッセイも募集し、駅前広場のイベント市民参りの打巻で、トキゲレタウ巨使用しての学生連の会議(名古屋経営短期大学)山田君の学生連。

本地球児童館に突ったキウリンノメロンの一種、黄色いトガが皮の一部になり本場に美味らしいの？



2009.09.24

2009.09.14